

中国経営品質協議会

アセスメントコースA1（基礎編） 開催

中国経営品質協議会では、10月23日（水）・24日（木）の2日間、経営品質協議会インストラクターの足立裕氏を講師にお招きし、人材育成プログラム「アセスメントコースA1（基礎編）」を開催しました。

このアセスメントコースは、A1からA3までの全コースを受講し、修了後に「セルフアセッサ認定登録」を行っていただくことで、経営品質協議会認定「セルフアセッサ」になることができます。

経営品質向上プログラムでは、組織内で経営革新を進めるためにリーダーシップを発揮する人材を「セルフアセッサ」と位置付けています。

セルフアセッサは、各自の組織において、

- ・組織が目指す理想的な姿の実現に向けて経営革新している現在の経営の状態を評価（アセスメント）。
- ・評価（アセスメント）結果を踏まえ、改善・革新のための計画づくりと推進体制づくりを支援。

などが期待されます。

今回の受講者は、今後、自職場に戻られたのち、組織が目指す「理想的な姿」に対し、組織の現状を明らかにし、次の段階（組織風土の変革）に上がるために、伸ばすべき強みと改善課題を明確にして、活動いただけるものと考えております。

今回開催したアセスメントコースA1（基礎編）の研修内容は、主に次の2つのポイントについて学んで頂きました。



- ・組織の変革に必要な考え方「アセスメント」の全体像を習得。
- ・組織プロフィールの事例演習を通じて、現状分析の方法を学ぶ。

研修に参加された皆さまからは、「大変な研修だけれど、基本理念が詰まっており、有意義であった。」等の感想をいただきました。

今後、第2回「アセスメントコース A2（体験編）」を11月27日（水）・28日（木）に開催予定で、演習を通じて、アセスメントを段階的に体験していただきます。

第3回「アセスメントコース A3（実践編）」は、翌年の1月21日（火）・22日（水）に開催予定で、成果に結びつくアセスメントを実践して頂きます。